

KOBEシニアクラブについて



老人クラブとは

活動の目的

- (1)仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、
- (2)その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み
- (3)明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。

会員

- 入会を希望する高齢者で、概ね60歳以上の方を対象としています。
- 準会員や協力会員制度を取り入れ、60歳未満の方の参加も受け付けているクラブもあります。

組織

- 日常的に声をかけ合い、歩いて集まることのできる小地域の範囲で組織しています。
- クラブの規模は、おおむね30名から100名を標準としています。

運営

- 会員本意の自主的かつ民主的な運営をしています。
- クラブ活動の財源は、会員の会費によってまかなうことを基本とします。

国・地方公共団体の支援

- ・ 高齢者の生きがいや健康づくりの推進に向け、国、地方自治体から支援を受けています。

連合会

- ・ 小地域ごとの老人クラブ（単位クラブ）を核に、市区町村、都道府県・指定都市、全国の段階に老人クラブ連合会（老連）を組織しています。

老人福祉法における「老人クラブ」の位置づけ

老人クラブは、昭和38年8月に施行された「老人福祉法」において、老人福祉を増進するための事業を行う者として位置付けられています。

第13条 地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他広く老人が自主的かつ積極的に参加することができる事業を実施するように努めなければならない。

2 地方公共団体は、老人福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。



区老連に対する支援(助成金)について

○趣 旨

老人クラブ会員の健康増進又は健康づくりを推進するために区老連又は単位クラブが実施する事業に必要な経費の一部を助成する。

○助成金の種類

- ①運営助成金・・・定額+各区のクラブ数に応じた加算
- ②健康増進・健康づくり助成金・・・申請に応じて配分
- ③友愛奉仕活動事業推進費・・・定額
- ④モデル活動事業助成金・・・設定されたテーマに沿った事業

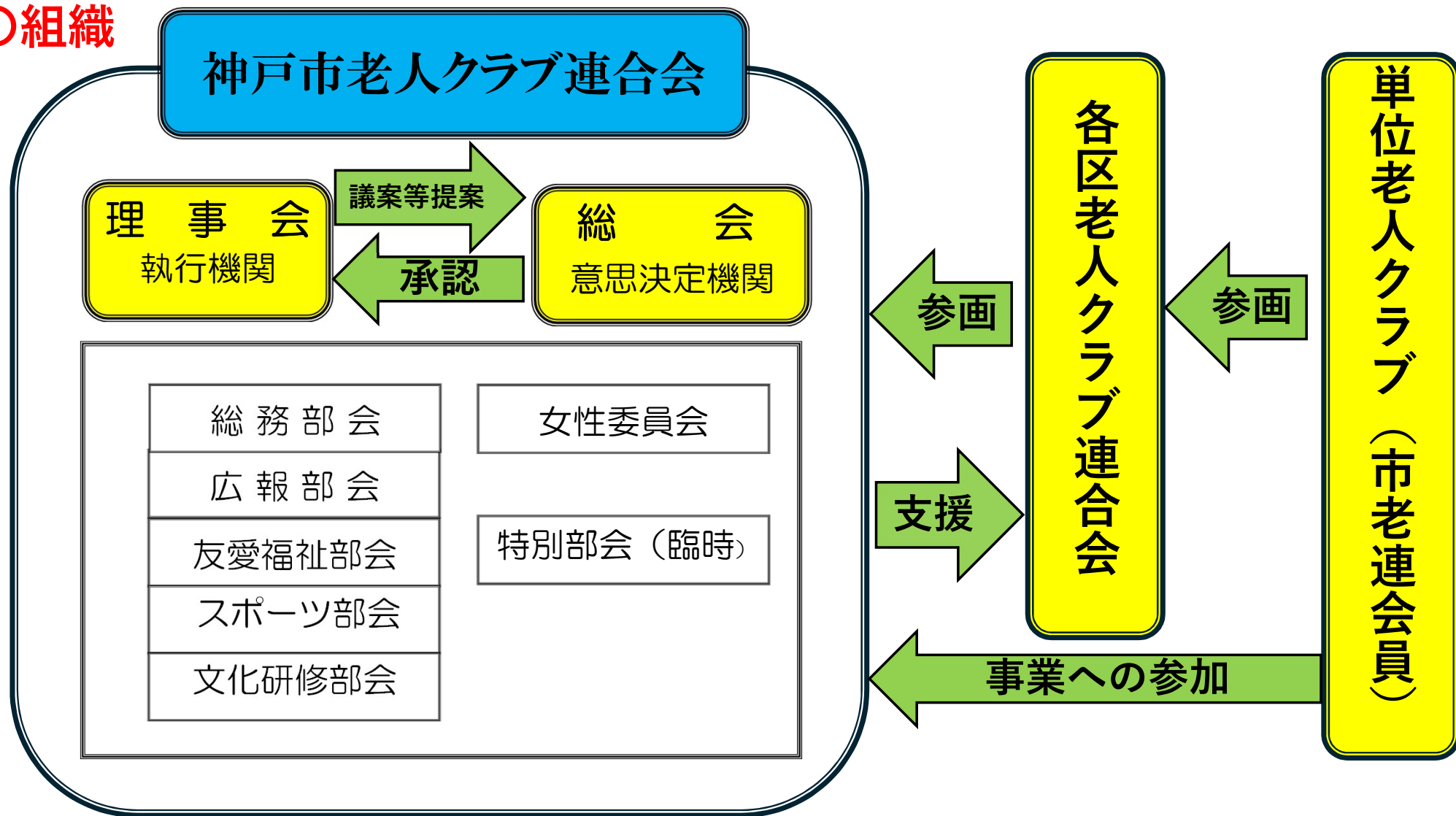
KOBEシニアクラブの概要

神戸市老人クラブ連合会（愛称：KOBEシニアクラブ）は、神戸市内の老人クラブが結集し、市内の老人クラブ活動の連絡強調を図り、老人クラブの発展と高齢者の福祉の向上に寄与するために必要な事業を行うことを目的として設立

○沿革

- 昭和33年8月 「神戸市老人クラブ連合会」（任意団体）として発足
- 昭和45年9月 「社団法人神戸市老人クラブ連合会」として法人認可
- 平成24年4月 「一般社団法人神戸市老人クラブ連合会」に移行
- 平成28年5月 愛称を「KOBEシニアクラブ」とする

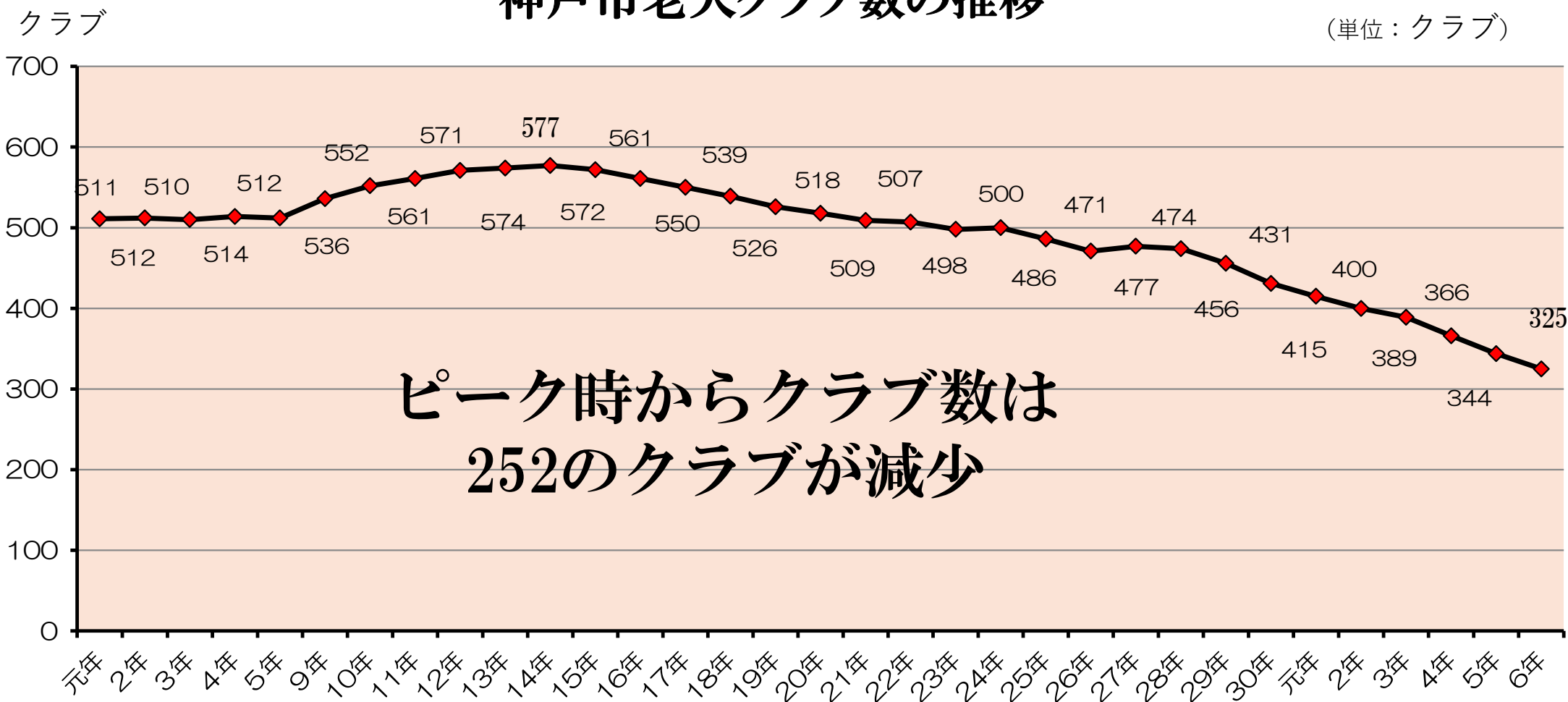
○組織



○クラブ数・会員数の推移

神戸市老人クラブ数の推移

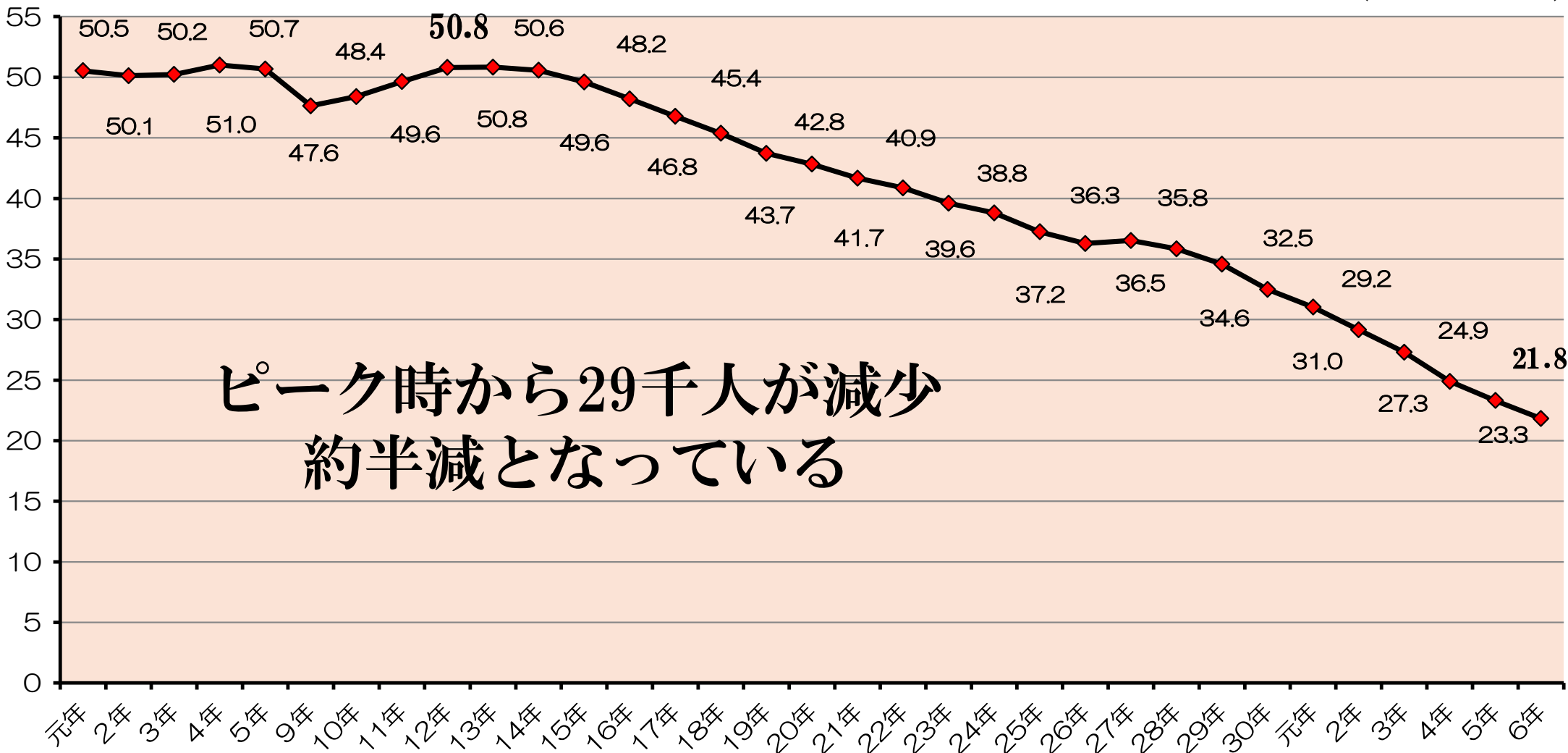
(単位：クラブ)



神戸市老人クラブ会員数の推移

千人

(単位：千会員)



ピーク時から29千人が減少
約半減となっている

○主要事業

1 健康増進事業

「グラウンドゴルフ大会（春・秋に開催）」、「輪なげ大会（年1回開催）」、「ボウリング大会（秋に開催）」などを開催し多くの会員の方々に参加いただいています。そのほか、健康増進研修会などを実施しています。

2 文化研修事業

文化事業として、「高齢者美術作品展」を開催し、毎年「洋画」や「書」等の各部門に多くの作品が寄せられています。

また、年1回の老人クラブ大会では、「演芸の集い」を開催し、文化活動の発表の機会になっています。

研修として、リーダーの役割等の知識の習得を目的とした「会長・リーダー研修会」や単位クラブの新任の会長を対象にした「新任会長研修会」などを開催しています。

3 友愛福祉活動／女性委員会活動

友愛活動として、日々の身の回りの事で困っている仲間の高齢者を助け、見守り活動などを通じて、老人クラブの会員がお互いに快く助け合える仲間づくり、環境づくりや地域の支援活動に努めるとともに、福祉研修会等を通じて介護や認知症等に関する知識を深めています。

女性リーダー相互の提携と女性の立場からの活動の推進を図るため、「女性委員会」を設置し、「いきいきクラブ体操」の普及やフレイル予防など健康増進に関する活動を行っています。

4 高齢消費者被害防止対策

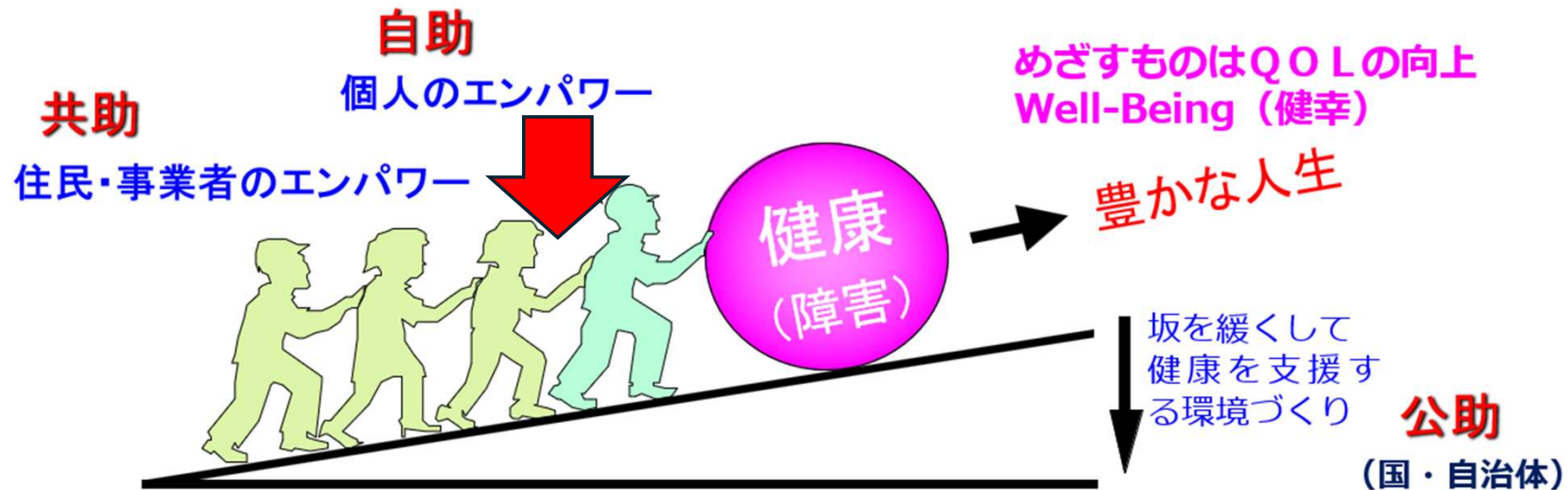
増加し続ける特殊詐欺被害を防止するため、様々な機会を通じて啓発活動を実施しています。

令和5年度には、兵庫県警察本部と「地域の安全安心に関する連携協定」を締結し、市民が安全に安心して暮らすことのできる社会の実現に向けた取り組みを協働して行っています。

目指すヘルスプロモーションの地域社会

国や自治体が推進するオタワ憲章で唱えられたヘルスプロモーションの概念です。「健康」は目的ではなく豊かな人生（QOL）を得るための手段として坂道を登って行く**自助**、その人をサポートし支援する住民や事業者などの**共助**、そして、国や自治体は坂道の勾配を緩くして坂道を上りやすくする役割としての**公助**の3つ欠かせません。自助・共助・公助の3つの「助」に「近所」も大切です。この中で**老人クラブ**の果たす役割や機能はどこにあるのでしょうか？

自助，共助，公助によるヘルスプロモーション



(島内 1987, 吉田・藤内 1995 を改編)

価値観など多様化する社会にどう対応するか?
問われるシニア(老人会)の在り方



スポーツ・文化活動・趣味等の諸活動



- 健康づくり
- 自分の存在を気にかけてくれる安心の確保
- 友人や仲間との交流
- 生き甲斐づくり
- 地域社会での貢献

閉じ籠り脱却

呉市区老連 認定居予防教室 **男の挑戦** 男も料理ができるぞよ



妻の介護/手助け



俺もやれば出来るぜ

オット危ない!
手を切るよと注意



男の料理教室開催後 男性の意識に変化

- 自分へのご褒美の料理
- 家族への心づくしの料理に感謝される喜び
- 新たに「料理教室」に通う
- 一層妻をいたわる気持ち
- 食の大切さに気付く





90歳代でも澁刺とお洒落ショー



認知症予防 自宅閉じ籠りを無くす
お洒落で仲間づくり



2024年ながた
シニアファッションショー



2024年ながた
シニアファッションショー



2024年ながた
シニアファッションショー



オレンジcafe
なあたんカフェ

長田区老連
コラボ企画

おしゃれde 認知症予防

nagata
collection

2024年7月20日
13:30~15:00
講師：朝山和江氏
(長田区老連)

ビフォー
アフター

おしゃれに
変身!

特養入所者が
ランウェイに
登場!

出演者
募集中

社会福祉法人
神戸福生会

お問合せ：高齢者ケアセンターながた
☎ 078-575-8777

2024年ながた シニアファッションショー



独居高齢者の見守り活動



認知症発症夫婦との共生/見守り 住民ぐるみの取り組み



「共生」への 挑戦



ゴミ屋敷 高齢者仲間が
ボランティアで大掃除



高齢者は経験と智慧を持つ

しかし

新しい時代に翻弄されている



今、新しいリーダーを必要としている



皆さんの力を貸して欲しい

安心出来る暮らしを
生き甲斐を求めて
社会貢献への寄与



たとえ認知症となっても

人間らしく



素晴らしい人生を完結したい

今、私たちの人生はどうあるべきか
「戦略会議」を立ち上げて
取り組んでいる

シルバーカレッジ卒業生の皆様
のお力をお貸し下さい!!

ご清聴ありがとうございました

卒業後の良き進路が
見つかりますよう祈念申します

